

失速が懸念される中国の地方経済

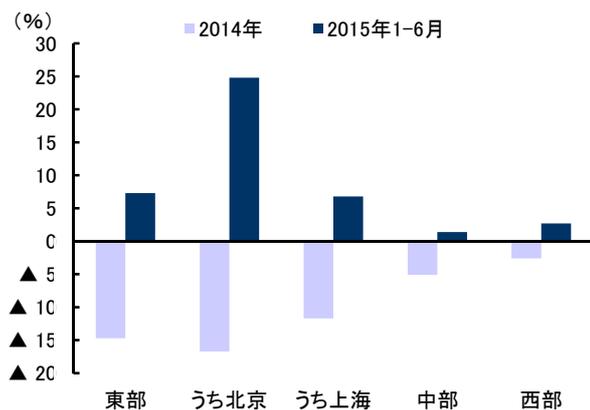
- (1) 中国では、過剰債務・過剰投資が重石となり、景気減速が持続。こうしたなか、地方経済に大きな景気下振れリスク（図表1）。
- (2) 北京や上海などの沿海大都市では、証券業の活性化や住宅販売の持ち直しなどを背景に、一定の成長率をキープ（図表2）。重慶や貴州省などの一部の内陸地域でも、ロボットやコンピューターなどの生産拡大が地域経済を牽引し、安定成長を持続。
- (3) 他方、多くの内陸都市や沿海の東北地域では、民間固定資産投資の増勢鈍化に歯止めがかからないことに加え、インフラ投資の拡大が遅れている結果、景気は一段と減速（図表3）。とりわけ、鉱工業の川上にあたる素材供給を担う地域では、景気の減速が著しく、中国最大の石炭生産地である山西省の1～6月の名目GDPは前年同期比▲4.7%とマイナスに。実質ベースでは同+2.7%成長であったことを踏まえると、GDPデフレ率は同▲7.4%と大幅マイナス。
- (4) 31省・市・自治区のうち、19地域で1～6月のGDPデフレ率が前年比マイナスとなるなど、デフレ圧力が強まるなか、先行き、一部の地方では縮小スパイラルに陥る恐れも。

(図表1) 31省・市・自治区の経済成長率とGDPデフレ率
(前年比、%)

	2014年			2015年1-6月		
	名目 GDP	実質 GDP	デフ レーター	名目 GDP	実質 GDP	デフ レーター
沿海部(東部)						
江蘇	10.0	8.7	1.3	12.7	8.5	4.2
広東	9.1	7.8	1.3	11.8	7.7	4.1
天津	9.4	10.0	▲0.6	9.7	9.4	0.3
上海	9.1	7.0	2.1	8.5	7.0	1.5
北京	7.7	7.3	0.4	8.3	7.0	1.3
海南	11.3	8.5	2.8	7.9	7.6	0.3
福建	10.6	9.9	0.7	7.5	8.6	▲1.1
浙江	6.9	7.6	▲0.7	7.2	8.3	▲1.1
山東	8.7	8.7	▲0.0	5.9	7.8	▲1.9
河北	4.0	6.5	▲2.5	1.2	6.6	▲5.4
遼寧	5.7	5.8	▲0.1	▲1.5	2.6	▲4.1
内陸部(中部)						
江西	9.6	9.7	▲0.1	11.4	9.0	2.4
湖北	10.9	9.7	1.3	8.6	8.7	▲0.1
湖南	10.4	9.5	0.9	6.9	8.5	▲1.6
安徽	9.5	9.2	0.3	6.7	8.6	▲1.9
河南	8.7	8.9	▲0.2	6.1	7.8	▲1.7
吉林	6.3	6.5	▲0.2	4.4	6.1	▲1.7
黒龍江	4.6	5.6	▲1.0	▲4.2	5.1	▲9.3
山西	1.2	4.9	▲3.7	▲4.7	2.7	▲7.4
内陸部(西部)						
新疆	10.8	10.0	0.8	21.4	8.2	13.2
貴州	15.5	10.8	4.7	15.1	10.7	4.4
チベット	14.0	10.8	3.2	13.4	9.1	4.3
重慶	12.7	10.9	1.8	12.4	11.0	1.4
雲南	9.3	8.1	1.2	8.1	8.0	0.1
広西チワン	9.0	8.5	0.5	7.0	8.0	▲1.0
陝西	10.3	9.7	0.6	6.4	7.3	▲0.9
寧夏	7.3	8.0	▲0.7	5.2	7.4	▲2.2
甘肅	9.1	8.9	0.2	4.9	8.0	▲3.1
四川	8.7	8.5	0.2	4.7	8.0	▲3.3
青海	9.5	9.2	0.3	4.6	7.9	▲3.3
内モンゴル	5.6	7.8	▲2.2	1.2	7.0	▲5.8

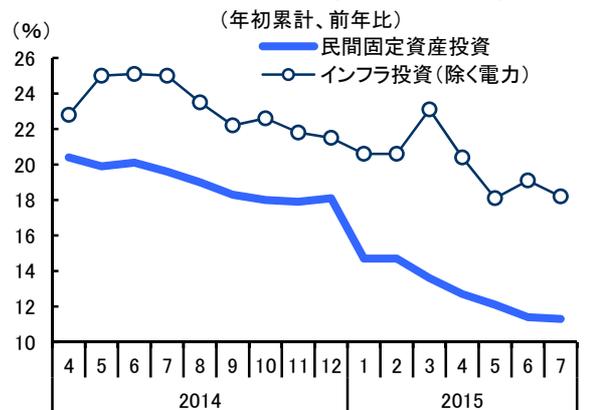
(資料) 国家統計局を基に日本総研作成

(図表2) 住宅販売床面積(前年比)



(資料) 国家統計局を基に日本総研作成

(図表3) 民間固定資産投資とインフラ投資



(資料) 国家統計局

(注) 国家統計局は2014年4月からインフラ投資(除く電力)のデータ発表を開始。